



もいまち

平成28年(2016年)11月

第69号

議会だより



写真/森幼稚園の運動会(森小学校体育館にて)

《主な内容》

平成27年度決算認定	2~3
平成28年度補正予算	
遊休工場等の活用を目指して	4~5
委員会報告	6~7
一般質問	
書家杭迫柏樹氏を名誉町民に 他	8~11

合併60周年記念の年

各種記念事業の実施

森町総合体育館 森アリーナの落成 拠点防災倉庫の完成

森町議会は、9月定例会を5日から23日までの会期19日間で開催しました。

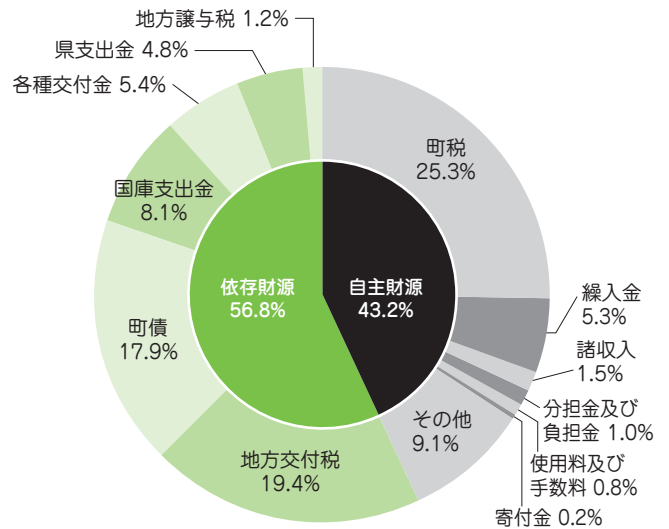
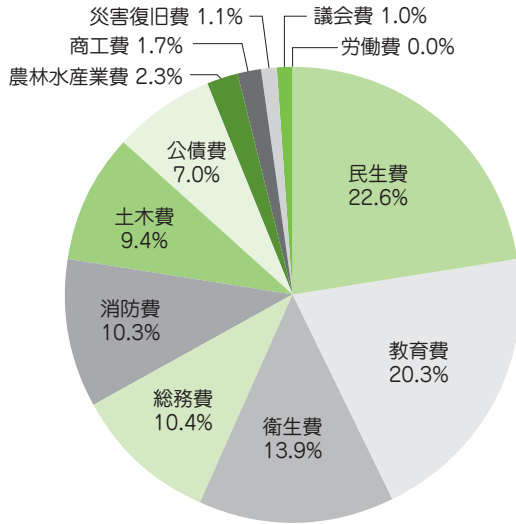
平成27年度決算認定、平成28年度補正予算、条例、人事など、提案された19議案と陳情について審議しました。

一般質問は、書家杭迫柏樹氏の功績顕彰のための有識者委員会立ち上げ、観光に力を入れ森町のPRを、など7人が質問しました。

(8P～11Pに掲載)

〈歳出〉87億2,088万7千円(前年比8.8%増)

〈歳入〉97億3,208万8千円(前年比8.3%増)



〈財政調整基金残高・地方債残高の推移〉

(万円未満四捨五入)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
財政調整基金残高	18億7,627万円	19億7,820万円	21億8,487万円	20億9,386万円	20億5,375万円
地方債残高	59億4,050万円	61億9,066万円	64億5,325万円	72億1,142万円	84億1,373万円

27年度末地方債残高のなかには、元金と利子が国から全額交付税措置される臨時財政対策債(39億5,170万8千円)も含まれています。

臨時財政対策債を除いた町の借金は、44億6,201万7千円となります。

平成27年度は、森町合併60周年の節目であり、記念式典、各種記念事業とともに、ロゴマークやご当地体操、森町賛歌などがつくられました。

27年度の主な事業として、ハード面では、森町総合体育館(森アリーナ)の建設、拠点防災倉庫の建設や機材などの購入、小規模保育施設の整備などが行われました。

ソフト面では、森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定、森町プレミアム付商品券発行に対する補助などが行われました。

一般会計の総額は歳入97億3209万円、歳出87億2089万円で、前年度と比較して歳入8.3%、歳出8.8%のプラスとなりました。

歳入における自主財源の割合は、町債、地方消費税交付金の依存財源の増加により、前年度より3.1ポイント減となる43.2%でした。

28年度に繰り越した事業を除く歳出予算に対する執行率は97.1%でした。財政調整基金は、前年度に比べ、4011万円減の20億5375万円となりました。

地方債の現在高は、前年度に比べ、12億231万円増の84億1373万円となりました。

(いずれも万円未満四捨五入)

平成27年度決算を認定

(一般会計)

町の支出 87億円

〈決算の推移〉

(万円未満四捨五入)

会計名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度			
一般会計	歳入	77億5,116万円	80億 789万円	82億4,909万円	89億8,309万円	97億3,209万円			
	歳出	67億9,597万円	70億3,389万円	73億6,319万円	80億1,335万円	87億2,089万円			
特別会計	国民健康保険	歳入	20億5,598万円	21億1,180万円	21億2,599万円	20億8,977万円	23億5,455万円		
		歳出	19億6,440万円	19億6,285万円	19億7,682万円	20億1,223万円	22億6,571万円		
	後期高齢者	歳入	1億7,145万円	1億8,321万円	1億8,578万円	1億8,921万円	1億8,524万円		
		歳出	1億6,912万円	1億8,032万円	1億8,569万円	1億8,881万円	1億8,453万円		
	介護保険	歳入	16億4,298万円	17億5,239万円	18億3,849万円	20億 643万円	22億2,524万円		
		歳出	16億3,251万円	17億3,864万円	17億9,828万円	19億 890万円	20億5,933万円		
	公共下水道事業	歳入	3億7,252万円	4億9,600万円	5億8,537万円	6億6,883万円	6億6,310万円		
		歳出	3億5,097万円	4億5,400万円	5億3,464万円	6億 495万円	5億6,637万円		
	簡易水道事業 (大久保・三倉・大河内)	歳入	473万円	455万円	445万円	427万円	409万円		
		歳出	338万円	333万円	336万円	333万円	309万円		
	企業会計	水道事業	収益的収支	歳入	2億5,349万円	2億6,132万円	3億 259万円	3億3,098万円	3億1,274万円
			歳出	2億5,780万円	2億6,819万円	3億 654万円	3億1,023万円	2億9,589万円	
資本的収支		歳入	1億1,452万円	1億3,414万円	1億 709万円	1億6,463万円	1億5,909万円		
		歳出	1億9,044万円	2億 840万円	2億1,426万円	2億2,700万円	2億3,156万円		
病院事業		収益的収支	歳入	27億1,693万円	28億1,533万円	28億8,061万円	28億2,051万円	27億7,890万円	
		歳出	28億 348万円	28億3,156万円	29億 835万円	32億1,216万円	29億4,680万円		
資本的収支		歳入	5億9,451万円	2億4,863万円	4億2,945万円	2億7,276万円	2億1,344万円		
		歳出	6億6,560万円	3億4,225万円	5億2,247万円	3億7,842万円	3億3,931万円		
合計	歳入	156億7,827万円	160億1,526万円	167億 891万円	175億3,048万円	186億2,848万円			
	歳出	148億3,367万円	150億2,343万円	158億1,360万円	168億5,938万円	176億1,348万円			

討 論

一般会計

【反対討論】

マイナンバーに係る事業はやめるべきである。総合戦略策定委託も及第点とは言い難い。子育て世帯への投資の方が必要である。
(西田議員)

【賛成討論】

行政無線デジタル化、拠点防災倉庫建設など防災減災体制を整え、一方「森アリーナ」や、森町小規模保育所の開設など総合計画に沿った事業を進めたことを評価する。
(山本議員)

水道事業会計

【反対討論】

遠州広域水道の県企業局との計画契約水量は、水道使用量が右肩上がりで増えていくとしたもので、抜本の見直しが必要である。
(西田議員)

【賛成討論】

下水道事業に併せた配水管布設替工事などが進められており、「安価で安全かつ安定した水の供給」という責務は果たされている。
(山本議員)

遊休工場等の活用を目指して

補正予算

一般会計補正予算(第5号)

追加 1億9704万9千円
総額 74億3398万4千円

遊休工場等実態調査

企業誘致のため遊休工場、遊休用地の現況調査を行い、データベース化して情報提供を行う
(250万円)

防犯灯設置費補助金

各町内会から防犯灯の設置等の要望が多くあったため補助金を増額する
(296万5千円)

観光誘客推進事業

40万人もの来客がある東京都江東区の区民まつりに出店し、森町のPRを行う
(250万円)

町単独道路改良事業

葛城ゴルフ場線や北戸綿工業団地1号線などの舗装改良を行う
(4420万円)

国際森林認証取得事業

国際基準の森林管理を行い、木材の販路を更に拡大させるため、掛川市等と共同で国際森林認証取得を行う
(62万円)

内陸フロンティア推進費

中川下工業専用地域への企業誘致のため用地測量を行う
(510万円)

【賛成討論】

遊休工場等実態調査、江東区民まつりへの出店、国際森林認証取得への取組等の新規事業があり、今後の森町の発展に期待が持てる。
(岡野議員)

【賛成討論】

住民の要望に心えて行う事業と、今後の森町の発展に大きく寄与する事業が多く計上されており、将来に向けて期待が持てる補正予算である。
(伊藤議員)

陳情

町道大上線道路整備について【採択】

天宮区画整理地の北端から大上地区へ繋がる道路の整備を求める陳情

【反対討論】

今後の発展が望めるようなところではなく費用対効果が低い。拡幅しなくても待避所を作れば十分である。
(鈴木議員)

【賛成討論】

広域農道や橘・薄場地区と、新田赤松線や天宮の住宅地をつなげる道路であり、整備により今後に期待したい。
(中根信議員)

条例

森町総合計画の策定等に関する条例

【原案可決】

森町総合計画の策定にあたり、審議会の設置や議会の議決を必要とする等の事項を定めた条例

人事

森町教育委員会委員

井口始氏、岡本孝祥氏の再任に同意しました。

補正予算(追加議案)

一般会計補正予算(第6号)

追加 7525万5千円
総額 75億923万9千円

ふるさと納税業務委託料

ふるさと納税が、当初の見込みよりも多く、返礼品購入や発送などに使われる委託料を増額する
(2881万8千円)



9月定例会の審議結果

議案名			結果	備考	議案名			結果	備考
専決	専決処分の報告承認		承認	全員賛成	決算認定	平成27年度森町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成	
人事	森町教育委員会委員の任命		同意	全員賛成		平成27年度森町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成	
	森町教育委員会委員の任命		同意	全員賛成		平成27年度森町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成	
条例	森町総合計画の策定等に関する条例		原案可決	全員賛成		平成27年度森町大久保簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成	
補正予算	平成28年度森町一般会計補正予算(第5号)		原案可決	全員賛成		平成27年度森町三倉簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成	
	平成28年度森町介護保険特別会計補正予算(第1号)		原案可決	全員賛成		平成27年度森町大河内簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成	
	平成28年度森町病院事業会計補正予算(第2号)		原案可決	全員賛成		平成27年度森町水道事業会計決算認定	認定	反対 西田議員	
一般	物品売買契約の締結		原案可決	反対 西田議員		平成27年度森町病院事業会計決算認定	認定	全員賛成	
決算認定	平成27年度森町一般会計歳入歳出決算認定		認定	反対 西田議員		陳情	町道大上線道路整備	採択	反対 鈴木議員
	平成27年度森町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		認定	全員賛成		予算	平成28年度森町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	全員賛成

7月臨時会の審議結果

議案名			結果	備考
予算	平成28年度森町一般会計補正予算(第4号)		原案可決	全員賛成
一般議案	建設工事請負契約の締結		原案可決	全員賛成
	建設工事請負契約の締結		原案可決	反対 鈴木議員

防災行政無線 城ヶ平基地局



7月臨時会

7月臨時会を28日に開催し、補正予算と契約締結の計3議案について審議しました。

補正予算

一般会計補正予算(第4号)
 追加 4320万円
 総額 71億3693万5千円

防災行政無線デジタル化事業

城ヶ平基地局設置に、文化財保護など想定した以上の工事費が必要になったため増額する
(4320万円)

一般議案

道路改築と、天方小体育館耐震工事の契約について、それぞれ議決しました。

建設工事請負契約の締結【原案可決】

町道太田川圃場南4号線築造工事
 契約額 5562万円
 請負業者 大沼建設(株)

建設工事請負契約の締結【原案可決】

天方小学校屋内運動場耐震補強工事
 契約額 1億1286万円
 請負業者 正光建設(株)

【反対討論】

業界や行政の言うことに対して、そのまま賛成をすることに疑問を感じる。少しでも安く税金を使うためにも当議案に反対する。
(鈴木議員)

【賛成討論】

町内にある他の体育館は、全て耐震工事が実施されている。子どもたちが安全に体育を行うために、速やかに工事を進めていただきたい。
(岡野議員)

【賛成討論】

当体育館は災害時の避難場所にも指定されており、改修は地区全体の願いである。今であれば、国の交付税措置がある有利な起債で対応できる。
(吉筋議員)

【賛成討論】

この議案は契約の締結についてである。事業内容、設計額については補正予算の際に審議済みであり、いま議論すべきことではない。
(山本議員)

企業誘致のための 準備を着々と進める

第一常任委員会

Q 中川下工業専用地域について、県・企業・町との三者協定締結が予定より遅れているが、今後の予定は

A 今回補正の測量業務完了後の10月下旬から11月上旬を目途に、三者協定締結を考えている。その後、農振の除外が決定され次第、用地買収等は県企業局が行い、31年4月の工場操業には可能な限り間に合わせていきたい。

Q 遊休工場等の実態調査の規模や活用方法は

A 県で公開している遊休地情報では、森町において4か所が紹介されている。それ以外にも都市計画区域内を中心に、調査を進めていく。企業及び住宅用地としての問い合わせの対応や、企業訪問時に紹介していきたい。また、遊休農地については次のステップとして考えている。



企業誘致を予定している中川下工業団地を視察

第一・第二常任委員会は、9月13日、平成28年度補正予算などの議案について、審査を行いました。審査の主な内容を報告します。

Q 漢詩撰文集について説明を

A 漢字で綴った詩を作ることを漢詩撰文という。ミキホール文化振興会で杭迫柏樹氏の書を購入し、文化会館に展示する予定である。漢詩の文章については杭迫氏が森町を想う気持ち、森町を称える196文字の漢詩とし、杭迫氏と縁のある元桃山学院大学法学部教授の林宏作氏に依頼した。その撰文集について町が支出するものである。

Q B型肝炎ウイルス予防接種補助の対象者は

A 今年度の対象者は、生後2か月から1歳の誕生日前日までの乳児105名で、1人の接種回数は3回のため、1回・2回・3回の方の延べ人数は249人となる。

乳児がB型肝炎ウイルスに感染すると、キャリア（ウイルスを体内に保有した状態）になる危険性が高くなるため、乳児への接種を進めている。

Q 観光や防災の拠点等における来訪者や住民の情報収集等の利便性を高めるため、Wi-Fi環境（公衆無線LAN）の設置場所は

A 本庁舎1階に2か所、2階に2か所、文化会館1階ロビーと教育委員会事務所前廊下、図書館力ウンターにそれぞれ1か所、計7か所に設置する予定である。現在、町民生活センターと森町総合体育館については整備してある。保健福祉センターについては既存の装置を公衆用に切り替えることを検討している。

DoSPOTで、
ひとつ上のお店づくりを。

DoSPOT
とは…

店舗へ無線アクセスポイントを設置し、来店される方にWi-Fiによるインターネット接続サービスを提供するサービスです。

☆「DoSPOT」はエヌ・ティ・ティ・メディアサプライ社が提供するサービスです。
☆Wi-Fi対応の端末なら、どなたでもインターネットに無料で接続できます！
☆無料インターネットのご利用は、1ユーザーにつき1回あたり最大15分間1日4回までご利用できます。（機種により利用できない端末があります）
☆災害発生時には、NTTメディアサプライの判断及び、NTTメディアサプライの定める基準に従い、全ての来訪者に対し専用無線APの電波を開放します。

Wi-Fi(ワイファイ)とは、スマホやタブレット、パソコンから無線で高速インターネット通信が利用できる技術のことです。

今回の補正で設置するWi-Fi環境

第二常任委員会

Q 観光誘客推進事業委託料の事業内容と経費の内訳は

A 10月15日(土)と16日(日)に開催される東京都江東区の区民まつりは、全国の42自治体に参加出店し、毎年約40万人の人数があるイベントである。この区民まつりに初めてブース出店するもので、観光協会に委託し、アクテイ森が物品販売をする。茶商組合、菓子組合、メロン組合、JA等の協力を得て森町の産物を試食、試飲してもらう体験から始めていきたい。(実施済み)



森町の出店ブース



にぎわう区民まつり

森町をPR 江東区民まつり 出店参加

Q 国際森林認証取得事業の内容は

A 森町森林組合、掛川市森林組合、県中遠農林事務所とともに森町・掛川市がグループで参画し、森林認証を取得する事業である。町内では、三倉の高塚団地と大日山の団地の440haと県営林を対象森林としている。認証の取得により販路拡大、需要増につながるものと期待している。

Q 悪質電話防止装置モニター事業の内容は

A 高齢者や障がい者を詐欺などの被害から守るために、公募する50世帯を対象としてナンバー・ディスプレイが付いた電話機に、機器を接続するものである。機器には警察などが詐欺や迷惑電話としたデータが、約26,000件入力されていて、この番号から着信があると赤色の点滅表示で示すとともに通話拒否するものである。

Q 町単独道路改良事業の葛城ゴルフ場線と北戸綿工業団地1号線の事業内容と工期は

A 葛城ゴルフ場線は、283mの舗装打換え、工事費1700万円、片側ずつの工事で年内までに完了したい。

北戸綿工業団地1号線は、210mの舗装改良、工事費2000万円、来年2月までに休日等を利用しての短期間にて工事を行いたい。

陳情 大上線の整備について

Q 大上線の東に大洞院線、西に大上5号線があり、この3本の道の活用方法は

A (陳情者) 大上5号線は河川の堤防道路で、住宅も2戸、一般車両の通行は非常に少ない。大洞院線は通行量も多いが、道幅は狭く通学路で危険である。大上線整備により、天宮住宅や町中心部からの広域農道へのアクセスが格段と良くなり、町の活性化にもつながる。また、大上線の両側の農地は、将来、工場や宅地の活用も考えられる。



現在の大上線

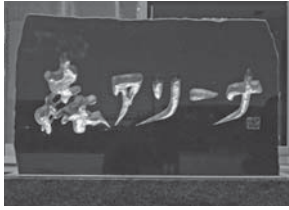


吉 筋 恵 治

書家杭迫柏樹氏を 名誉町民に

問 森町出身の書家、杭迫柏樹氏は日本書芸院大賞、日本芸術院賞などの功績が認められ、京都市より「文化功労者顕彰」・2014年には「紺綬褒章」を受賞された。役職も「全日本書道連盟顧問」「日中文化交流協会常任委員」など多数歴任され、また森町役場を始め森アリーナの作品など、その足跡は町民の皆さんの知るところであり、森町出身者として稀に見る実績である。

その功績を称え顕彰するため、杭迫柏樹記念館、森町名誉町民など今後の森町の教育文化振興を図る上で、有識者による「杭迫柏樹顕彰委員会」を立ち上げ町として顕彰の方向を示すべきと考えるが、町長の考えを伺う。



杭迫柏樹氏の作品
「森アリーナ」



杭迫柏樹氏の作品「ええら森町」
(役場庁舎内)

町長 杭迫柏樹氏はさまざまな活動を通じ町の教育文化の発展に多大な貢献をされている。

森町として貢献への感謝を込め、作品をお願いした。作品が完成したら、文化会館に展示し、町民に広く鑑賞していただきたいと考えている。

また、これまでの活躍やご厚意を踏まえ、ご本人の意向も十分確認し「杭迫柏樹顕彰委員会の設立」について検討していきたいと考えている。

町政を問う ～一般質問～



中 根 幸 男

優良田園住宅の取組と 今後の住宅政策は

問 町長は、公約(マニフェスト)の中で人口減少に立ち向かうとして、優良田園住宅の取組を掲げているが、建設促進についてどのように考えているか。また、今後の住宅政策について伺う。

町長 森町への移住・定住化促進のための取組として、優良田園住宅制度を活用することが、効果的なものとなるか、先進事例等を調査するとともに、制度のメリット、デメリット等整理する中で、「豊かな暮らし空間創生事業」など、他の事業等も研究しながら、人口減少対策を進めていきたい。

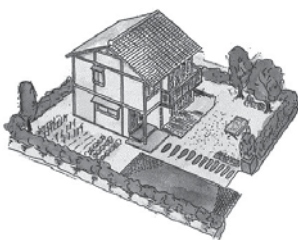
また、今後の住宅政策については、最近の土地価格の状況や町の財政基盤等考えると取組みが厳しい状況である。このため、遊休工場や造成工事の予定のない既存宅地、空き地等の実態調査を実施し、民間事業者等に積極的に情報提供するなど、民間開発を促進するとともに、他市町の状況や県の支援策等を踏まえ、検討していきたい。

南部地域へ公園の整備を

問 南部地域へ子ども達が安心して遊べる公園の整備が望まれている。子育て支援の一環として、また住民の憩いと交流、健康増進と体育の向上を図るため、公園整備が必要と思うがどうか。

町長 新たに用地を確保して、公園を新設するには、施設の中身や規模、財源等難しい面もある。今後、南部地域を含め、町内の公園の全体的な配置バランス等考慮し、総合計画や子育て支援施策など個別の計画等に位置つけて検討していきたい。

3階建て以下
敷地面積300㎡以下
建ぺい率30%以下
容積率 50%以下



優良田園住宅のイメージ図



伊藤 和子

子どものインフルエンザ 予防接種に公費助成を

問 子どものインフルエンザ予防接種費用の公費助成を望む声を多く聞く。

助成により、子育て世帯の経済的負担の軽減や、ワクチン接種率の増加により、子どものインフルエンザの発症・重症化を防ぎ、流行時の学級閉鎖の減少にもつながる。導入についての考えを伺う。

町長 子どものインフルエンザ予防接種は任意に行うもので、幼児における予防接種の効果も低く、対策として万全ではない。公費助成は難しい。

家庭や学校での手洗い、うがいの励行等、予防対策に重点を置く。

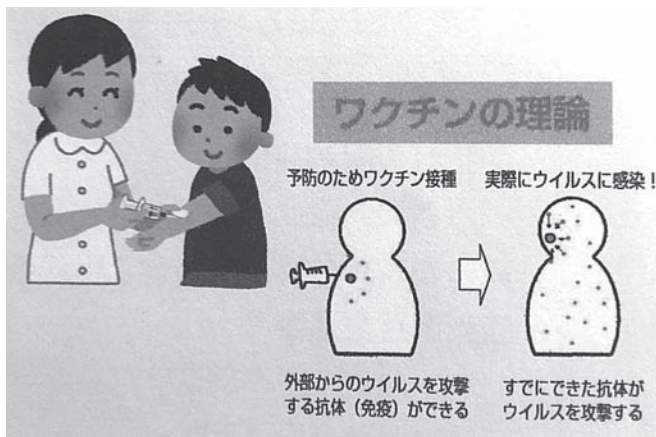
問 子どものインフルエンザ罹患による重症化を防ぐことは、町民の命を守るべく行政の役目である。助成をして、子どもたちにワクチンを接種しやすい環境を提供することが大事なのではないか。

県内では、富士市、焼津市、松崎町、川根本町が、すでに実施している。

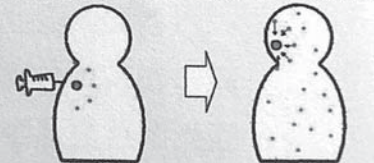
町長 予防接種を受けることによる感染の予防を考えるよりは、手洗い、うがい、集団生活の中で空気の入れ替えの予防対策の方が効果があると考えられる。助成するよりも、他の方法での予防を呼びかけていく。

その他の質問

・公立幼稚園庭の芝生化について



予防のためワクチン接種 実際にはウイルスに感染!



外部からのウイルスを攻撃する抗体(免疫)ができる すでにできた抗体がウイルスを攻撃する

町政を問う

～一般質問～



小沢 一男

聴覚障害者支援を

問 人工内耳体外機買い替え、修理は自己負担だ。装用者にとって経済的負担が大きい。町から積極的に支援、助成が必要と思うが考えは。

町長 平成27年6月に静岡県健康福祉部障害福祉課長通知で、スピーチプロセッサ(音声信号処理装置)は、日常生活用具給付等事業の「情報・意思疎通支援用具」に該当すると判断することも可能という見解が出た。

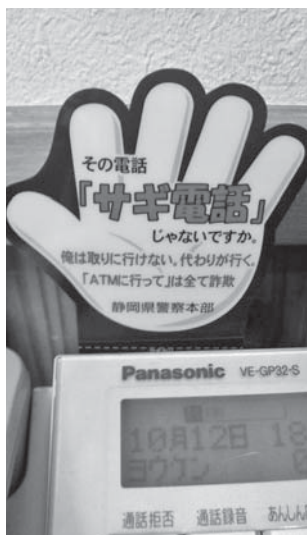
町として、買い換えや修理費用の助成は、対象者、耐用年数、基準等近隣市の動向を注視し、適切に実施することができるよう検討する。

高齢者を守る防犯対策

問 振り込め詐欺、森町は平成27年度3件、被害額1321万円、28年度9月現在1件、被害額174万円。本町は同報無線などで高齢者防犯対策を呼びかけている。

振り込め詐欺電話に注意を促す防犯グッズ「振り込め詐欺撲滅手形ポップ」を作成し、配布する考えは。

町長 「手形ポップ」は静岡県警察本部が作成し袋井警察署から、町内の一部の高齢者宅に配布されている。町として、次年度以降、県の補助金を活用し町内の全世帯に配布を検討する。



電話にポップを取付けて詐欺を防ぐ

その他の質問

・中学生対象の福祉教育授業実施について



鈴木 拓治

町長専用車の廃止について

問 自主財源比率5割を切る自治体に町長専用車は必要か、必要とするならその理由は。

町長 就任以来、土日を除く利用率は約63%で、内容は会議出席70%、企業訪問等の渉外業務21%、イベント出席9%である。移動時間の短縮と時間調整できる町長専用車は、行政にとって必要と考えている。

南部に保育園の新設を

問 南部地域に保育園の新設をする考えは。

町長 年々保育ニーズが高まり、保育園へ入園することも、受入先の保育園の保育士不足等の課題もあるため難しい。

南部地域へ新たな保育園新設の必要性は感じているが、子どもの将来人口予測、保護者のニーズの把握等、森町子ども・子育て会議の意見を伺い、総合的に検討していきたい。

小中学校の統合

問 小中学校統合の考えについて。

教育長 学校の規模適正化については、総合教育会議の中でも意見交換を行ってきた。森町の子どもたちにとってどんな教育環境で学ぶことが成長につながるかという視点に立って見直すことが大切である。

今後、有識者からの調査結果をもとに(仮称)森町の園・学校の在り方検討委員会」を立ち上げ、保護者や地域から信頼と協力が得られるように考え、町当局と連携を密にしながら検討していきたい。



保育園で遊ぶ子どもたち

町政を問う

～一般質問～



西田 彰

豪雨災害への備えは万全か

問 森町管内河川で、危険箇所はどれくらいあり、その危険箇所の対処はどのようにしているか。

豪雨での避難準備情報、避難警報、避難先はどのようになっているか。障害者の皆さんも含め、避難計画は万全に近い体制づくりが求められるがどうか。

町長 河川の氾濫は広域に及ぶため箇所だけでなく区域で指定し、河川ごとに、太田川北部、南部、一宮川、小藪川等それぞれに避難情報の発令基準を設定し、その基準と気象庁が発表する気象情報等を総合的に判断し発令する。道路パトロールと併せ河川パトロールを月1回行い、通報を受ければ随時実施している。

太田川堤防決壊危険区域は9か所把握しているが、太田川ダムの機能は反映されていないので、新たなハザードマップを作りたい。

要支援者への避難体制は民生委員をはじめ福祉関係等の協力を得て情報共有するとともに、要支援者の避難誘導にあたりたいと考えている。

エアコン設置

問 小・中学校にエアコン設置は。

町長 教育環境改善のため、町では平成23年度からすべての教室に扇風機を設置し暑さ対策をしてきた。日中35度を超すような日が増えてきているので、エアコン設置を検討する時期に来ているのかなと考えている。

ただし、教育施設全体の改修及び新設をどのようにしていくかという考えの中で、エアコン設置についても検討しなくてはいけないかなと思っている。



豪雨災害への備えは伏間川上流の現状



整備された案内看板(栄町地内)

町長 小國神社から街中、アクティ
森等へ、他の観光ルートづくりは、
森町の観光振興の大きな課題である。
今年度の「遠州の小京都まちづく
り基本計画」策定時に、町内観光地
を周遊するコースづくりを検討した
い。
案内看板・標識・道路の整備は、
現行の維持管理を継続していく。

問 小國神社の観光者をアクティ森
や街中に呼び込むために、道路整備
や、案内看板を増設する考えは。



中根信一郎

観光に力を入れ

森町のPRを



望月プラザ(もりの湯)

問 望月プラザ(もりの湯)の看板
が少ないが、観光者が入浴して帰る
よびにする考えがあるか何つ。

町長 今後、利用者が多くなれば、
看板の設置について検討していく。

ファミリー公園は

問 町民の森にファミリー公園をつ
くり、憩いの場にする考えは。

町長 町民の森全体が「土砂流出防
備保安林」「保健保安林」に指定さ
れているため、維持管理に努めてい
る。遊具等を設置して公園にするこ
とは困難である。

町政を問う ~一般質問~

静岡県市町議会議員研修会に参加しました

8月18日:グランシップ(静岡市)

人口減少社会における

地域経済活性化策

講師:ジャーナリスト 三神万里子氏

静岡県市町議員研修会が開催
され、議員全員が参加した。

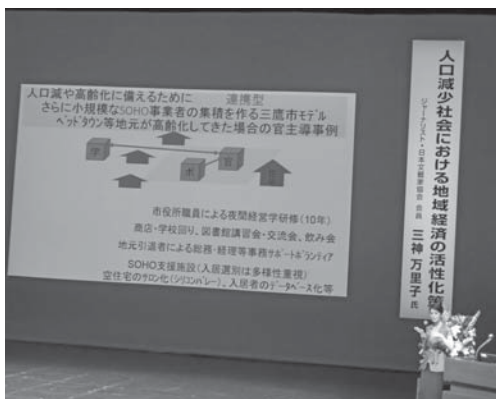
全国の地域の中から、現在若
年層が増加している地域や出生
率が回復している事例をあげ、
自らの地域に適した取組をすべ
きとの内容であった。

実例として、愛知県岡崎市、
宮城県富谷町、広島県三好市青
河町があげられた。

この3地域の共通点は、出生
率が2・07を上回っており、
通勤に30分から60分以内である。

また、不妊治療費、低家賃整備、
出産祝い金、高校生までの医療
費無料化などの政策、住宅が安
価であり、ショッピングセン
ター・レストランもあり、決め
手は若年層の収入が増加してい
ることである。

青河町に移った女性は「ここ
なら3人くらいまで産めるかな
と思った」ということである。



広島の青河町の「ブルーリバー」
政策は、一戸建てが月1万円から
借りられ、新築でも5万円であ
る。耕作放棄地を利用し、子育て
中の女性が働ける農家レストラ
ンや産直ショップ、ごらく製造・
販売所設立などが行われている。
これらに自治体も出資し、近隣の
企業を含めての一体的な取組み
が紹介された。

みんなのこえ

森町走友会

&森町走友会スポーツ少年団



私たちのクラブは、現在の会員数は大人11名、中学生14名、小学生79名と合計104名います。

静岡県市町対抗駅伝大会が開催され小中学生の選手指導としてやってまいりました。参加人数も多くなり、森町走友会スポーツ少年団を平成22年4月に設立しました。

練習は町営グラウンドで水曜日にナイター、土曜の朝、太田川河川敷に集合してロードに行きます。①基本的には楽しく走る

こと ②体力づくりの基本的な運動 ③礼儀作法 ④交通安全意識の向上 ⑤友達を多く作り、中学校生活を楽しく有意義に過ごすをモットーにがんばっています。

陸上大会に9回、駅伝大会5回、元旦マラソンに出場しています。のほか各種バス旅行&練習、他地区のチームとの練習&懇親会など、色々な経験をし成長するよう楽しくやっています。

練習、大会には保護者も多く参加し、健康のためにランニングや、大きな声で励ましたり、グラウンドを整備して、子どもの姿を見て笑顔が絶えません。

入会したい人がいれば、水曜日に町営グラウンドに来てください。

代表 杉田 勉
TEL
090(2621)8040

議会を聴きに来ませんか

9月議会では、のべ51人の方が、議会へ足を運んでくださいました。予約は必要ありません。手続も簡単です。是非、お越しく下さい。

- 定員数28名
- お問い合わせ先…議会事務局
電話 0538-85-6329

<12月定例会の予定>

- 12月 6日(火) 本会議 初日
- 12月12日(月) 常任委員会
- 12月13日(火) 本会議 2日目
- 12月19日(月) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

あの一般質問

どうなったかいやあ～

【平成27年3月定例会】

Q 城下町営住宅を撤去する考えは。

A 昨年10月に2棟を撤去、今年10月に残りの3棟を撤去し、城下住宅の撤去が完了しました。

森町議会だより第68号に誤りがありました。3ページの上から3段目、見出しに「請願」とありますが、「選挙」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

ひとこと

「森町花の会」に入会して2年がたちます。

今年の4月からは、天浜線「遠州森駅」前の花壇の水かけ当番を交代でやるようになりました。

また、9月には、育苗ハウスでの種まきにも初めて参加しました。暑いハウスの中の何回もの作業は大変でした。改めて会員の皆さん方の今までやってこられたことに、心から敬意を表します。

花の会の皆さん方が心を込めて、種から育てた花を、毎日の水かけの継続など「花への思い」により、きれいな花を見ることができ、感謝の気持ちと喜びで一杯です。
K・いとう

議会だより編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 片岡 健 |
| 委員長 | 山本 俊康 |
| 副委員長 | 中根 幸男 |
| 委員 | 吉筋 恵治 |
| 委員 | 小澤 哲夫 |
| 委員 | 伊藤 和子 |
| 委員 | 岡野 豊 |
| 委員 | 中根 信一郎 |